



戸田ヶ原すくすくプロジェクト第4弾！

みんなでミドリシジミの林づくり！～ハンノキのたねをとって育てよう～

参加者募集！

日にち : 平成 22 年 12 月 4 日 (土)
雨天の場合 5 日 (日) に延期します。

時間 : 13 時 30 分～15 時

集合場所 : 戸田ヶ原自然再生エリア第 1 号地

参加費 : 無料

持ちものなど : あたたく汚れてもいい服装
飲み物、帽子など

事前申込み先 : 戸田市公園緑地課
電話 048-441-1800 (内線 348)
Eメール koenryokuti@city.toda.saitama.jp



★イベント内容★

ハンノキの実からたねを採り、鉢にまきます (※たねをまく鉢と土はご用意します)。
参加者のみなさんには、ハンノキのたねをまいた鉢をそれぞれの家へ持ち帰って、1年間育てていただきます。
1年後、みなさんが育てたハンノキの苗木を、たねを採ったハンノキ林のまわりや自然再生エリア第1号地へ植える予定です。



ハンノキのたね



ハンノキの実

開催決定！

さくらそう咲く夢への一步～戸田ヶ原自然再生報告会～

戸田ヶ原の自然を再生する活動がスタートしてから、もうすぐ1年が経とうとしています。戸田ヶ原サポーターの皆さんや市民団体、企業の方々にもご協力をいただきながら進めてきた今年度の活動をふりかえるとともに、来年度の活動予定についてお話しする報告会を開催します。また、報告会終了後には懇親会も予定しています。みなさまのご参加をお待ちしています！

★日 時 : 平成 23 年 1 月 30 日 (日)
14 時～15 時 30 分

★場 所 : 戸田市文化会館 304 会議室

★報告会は、事前申し込み不要、参加費無料です。

※懇親会にご参加の場合は、別途参加費が必要となります。



「秋の草花・バッタしらべ in 戸田ヶ原」を開催しました！



10月16日に、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地で「秋の草花・バッタしらべ in 戸田ヶ原」を開催しました。

時間が経つにつれて様々な植物が生えてきた1号地ですが、果たして野生の生きものたちにとって住みやすい場所になっているのでしょうか？21名の参加者と一緒に、今、1号地にはどんな虫（特にバッタ）が住んでいるのか、そしてどんな草花が多く生えているかを調べてみました。

その結果、トノサマバッタやエンマコオロギなど10種類のバッタを確認！オオカマキリもたくさん見つかりました。植物の回復に伴い、少しずつ虫たちが住み始めているようです。一方で草花は、オギやイヌタデに混じって外来種のセイタカアワダチソウが多く見られ、引き続き外来種の駆除が必要であることがわかりました。

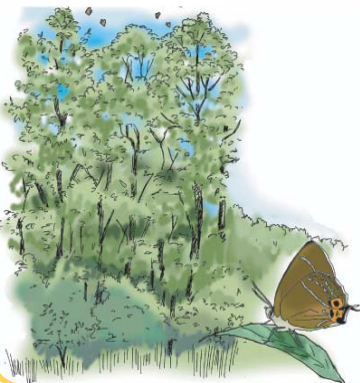
第2回戸田ヶ原自然再生推進連絡会議を開催しました

11月10日に第2回戸田ヶ原自然再生推進連絡会議を開催しました。会議では、事務局から今年度のこれまでの取り組みと、来年度の計画について報告されました。来年度実施する予定のサクラソウの植栽試験の進め方や、事業の普及広報の方法などについて活発な意見交換が行われました。



戸田ヶ原自然再生ミニ講座

「埼玉県のチョウ」であるミドリシジミは、戸田ヶ原の自然を再生していく上での目標種の1つです。かつては戸田市内にもミドリシジミがくらしていましたが、近ごろでは見られなくなってしまいました。埼玉県内でも減少しているため、絶滅の危険性が高くなっている生きものとして県のレッドデータブックに掲載されています。



ミドリシジミは、ハンノキの林で生活します。夏に成虫がハンノキの幹や枝に卵を産み付け、そのまま卵で冬を越します。翌春、ハンノキの葉が芽吹くと、卵から幼虫が出てきて、ハンノキの葉を食べて育ちます。大きくなった幼虫は、ハンノキの根元の落ち葉の裏で蛹（さなぎ）になり、6月下旬には成虫が舞い始めます。

ふたたび戸田市内にミドリシジミを戻すためには、ハンノキの林を守り育てていくことが重要です。

★ニュースレターやイベント案内などを希望されない方は、お手数をおかけして申し訳ございませんが、「戸田市公園緑地課」までご連絡をお願いいたします。